

製品名: Nkx-6.1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14737**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

希釈倍率 WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | NKX6-1 |
| 別名 | NKX6-1; NKX6A; Homeobox protein Nkx-6.1; Homeobox protein NK-6 homolog A |
| 遺伝子 ID | 4825.0 |
| SwissProt ID | P78426 |
| 免疫原 | Nkx-6.1 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 180-260 |

背景

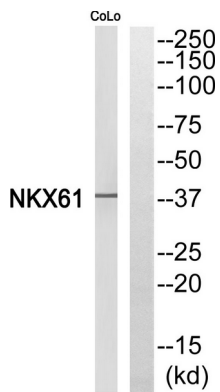
膵臓において、NKX6.1 は β 細胞の発達に必須であり、標的遺伝子のプロモーター領域内の AT リッチ配列に結合する強力な二機能性転写調節因子である (Iype et al. (2004) [PubMed 15056733])。[OMIM 提供、2008 年 3 月]、機能: 膵島発達の制御および/または

インスリン生成の調節に重要である可能性がある。、類似性: 1つのホメオボックス DNA 結合ドメインを含む。、組織特異性: 膵臓β細胞。

研究分野

若年成人発症糖尿病;

画像データ



NKX61 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは NKX61 ペプチドでブロッキングされている。